

# 学校関係者評価委員会議事録

1. 開催日時 令和2年6月13日(土) 午後2時50分～
2. 開催場所 中央医療技術専門学校 4号館3階 普通教室1.2.3合同  
東京都葛飾区立石3丁目13番4号
3. 学校関係者評価委員定数 6名
4. 出席者 学校関係者評価委員 神田 吉也 横田 浩 菅 勝幸  
柳田 智 近藤 昭夫  
  
学校関係者  
森重美三男理事長 加藤広宣事務局長  
※岸千春財務次長 ※尾花寛学校長 ※小川雅之教務部長  
※中島正弘教務課長 ※加藤真一学生課長 ※池田信昭事務長  
(※印は内部評価委員)
- 欠席者 学校関係者評価委員 伊丹 重貴
5. 議 案
  1. 令和元年度学校自己評価報告について
  2. その他
6. 議事録署名人 横田 浩 菅 勝幸
7. 配布資料
  1. 令和元年度 学校自己評価報告書
  2. 事業活動収支計算書
  3. 応募数と入学数推移(6年間)
  4. 卒業退学推移(5年間)
  5. 国家試験合格推移(5年間)
  6. 就職率推移(5年間)
  7. 令和元年度学校自己評価報告書 スコア対比表

議事に入る前に、森重理事長から挨拶があった。

- ・1月18日行われた、キックオフミーティングから約半年がたった。
- ・この半年間はコロナウイルス感染予防に明け暮れ、当校だけでなく世の中が一変し、卒業式、入学式が中止になった。

- ・新学期に入ってから対面授業が開始されず、5月の連休明けから、リモート授業を行っている。対面授業は6月29日から行う予定です。
  - ・5月25日から6月1日の間で、学校内部で学校自己評価委員会が開催され報告書をまとめていただき、事前に評価委員の皆様へ配布したところ、神田委員長から学校自己評価報告書だけでは、実態が分からないという指摘を受けて、本日配布をさせて頂きました資料を5種類(事業活動収支計算書・応募数と入学数推移・卒業・退学推移・国家試験合格推移・就職率推移)用意致しました。また、神田委員長がまとめてくださったスコア対比表と、平成31年度事業報告書の冊子を皆さんにお渡し致します。
  - ・実りある学校関係者評価委員会にして頂きたいと思えます。
- との挨拶があり、委員会成立事項報告を求めた。

#### 学校関係者評価委員会成立事項報告（議事司会者の加藤広宣事務局長）

本日の委員会は、委員6名中5名出席しており、学校関係者評価委員会規程第7条1項に定める出席委員数を満たしており、学校関係者評価委員会が成立する旨の報告があった。規程第8条により、委員以外の者へ出席を求め意見を聞くということで、本日は学校自己評価委員である尾花学校長、小川教務部長、中島教務課長、加藤学生課長、池田事務長が同席をする。また、規程第10条により委員会の事務は、本校の教務部において処理するとあるが、本日は、法人事務局で議事録を作成するのでご了承を願う。また、議事録作成上、本日の委員会の録音を行うとの報告があった後、神田委員長に議事の進行を依頼した。

神田委員長は議事に入る前に議事録署名人を、横田浩氏と管勝幸氏の両名を指名し、2人とも承諾し議事に入った。

神田委員長は、5種類の資料(事業活動収支計算書・応募数と入学数推移・卒業退学推移・国家試験合格推移・就職率推移)の説明を学校側に求めた。

#### 【資料説明】

1. 尾花学校長より、応募数と入学数推移、卒業退学推移、国家試験合格推移、就職率推移の資料について説明があった。
2. 岸財務部長より、事業活動収支計算書の資料について説明があった。

説明を受け、神田委員長から評価委員に質問を求めたが、特になかった。

引き続き、令和元年度学校自己評価報告書の説明を学校側に求めた。

#### 【和元年度学校自己評価報告書】

尾花学校長から、学校自己評価について、趣旨、対象期間、実施方法、評価方法の説明の後、評価項目(1. 教育理念、2. 学校運営、3. 教育活動、4. 学習成果、5. 学生支援、6. 教育環境、7. 学生募集と受け入れ、8. 財務、9. 法令等の遵守、10. 社会貢献)の10項目について説明があった。

## 【質疑応答】

(質) 国家試験の合格率が、全国平均よりも低いのは、本校だけなのか、また、他校も同じように低いのか。合格率低迷の問題点はなにか。(神田)

(答) 他校は、全国平均よりも高い。平成29年度は国家試験の問題がかなり難しかった。本校の卒業基準に医療放射線という総合科目があり、国家試験形式の試験を5回やり、その平均点が120点以上の者を卒業見込者とし国家試験受験者としている。また、合格点に達しない者には再試験を行い救済措置を講じている。毎年、同じ方法で対応しておりが、今年は大変国家試験合格率が良くなかった。原因を分析してみると、昨年度の卒業生は、入学時の応募が少なく、定員を確保のために、入試の合格点を低く設定しなければならなかった。結果として当該年度の学力が低下してしまった。(尾花)

(意見) 専門学校に入って来る学生は、国家試験合格が大事になってきますので、合格率を上げていくことを検討して頂きたいと思います。(神田)

(質) 応募数と入学数推移の資料を見ますと、国家試験の合格率が悪い年は、その学年の入学時の応募者数が少ないと言いましたが、あまり相関性がないように見えますが、どうでしょうか。(横田)

(答) 定員に対して応募数が多いときは、当然合格点は高く設定されますので優秀な生徒が確保できます。応募数が少ないときは、逆になりますので、厳しい状況です。(尾花)

(質) 学生の質で今の若い20代30代は、活気があるのか、ないのか、よくわかりませんが、真面目なんですけど、上からやりなさいと言ってもやらない。難しい年代なのかと気がします。学生さんがやる気になる工夫をどのようにされているかお伺いします。(管)

(答) ゆとり世代から、悟り世代の学生で、専門学校の卒業では、大卒に敵わないとすでに自分の将来について悟ってしまっていて、モチベーションを上げ難い生徒を多く見かけます。なかなか苦勞している状況です。(尾花)

1年生に病院見学を行い技師になるモチベーションを上げている。(加藤真)

最高学年でなかなか成績が上がらない学生の中には、文章の理解力に問題がある生徒もいました。科目の内容の他に、勉強のしかた等、様々な角度から生徒をみるよう心掛けています。(中島)

専門学校に入学して、更に大学に行く、編入学の道があるとか、また、研究をして学会に発表をする、とかモチベーションを上げている。(小川)

(質) 情報システム化はどうなっていますか。進級率はどうなっていますか。カンセリングの利用率はどうなっていますか、お伺い致します。(柳田)

(答) システム化に関しては、オンライン授業は良いところもあると思い検討をしています。進級率は、1年から2年にあがるとき、2割が退学、8割が進級します。カンセリングの利用率は、月に1人から2人程度です。もっと悩んでいる方がいると思いますので改善していきます。(尾花)

(質) オンライン授業をやっていますが、システム化が学校全体でどれくらいか、退学、中退の数は学校全体の数なのか、自己評価を平均で出していると思いますが、標準偏差で評価した方が分かりやすいかと思いました。(近藤)

(答) オンライン授業は、有線でやらなければならない状態でやっています。学校内サーバーがないので、教室までケーブルを引いてやっています。退学、中退の数は、全学年を足した数になります。自己評価に関しては、ご指摘を頂ければそのように致します。

(尾花)

(質) 大学化に関してお伺い致します。(神田)

(答) 大学化については、現在未だ構想の域です。学校の近隣、または、立石駅前開発と葛飾区役所と折衝していますが、駅前開発も計画が遅れている状況です。この他に大学用地の候補として、2カ所検討しています。大学を造る上で、財政面が厳しい状況です。(森重)

質疑応答終了後、学校関係者は退室し、学校関係者評価委員で総評に入った。

纏まった総評を、神田委員長より学校側に述べた。

#### 【神田委員長総評】

- ・全体の報告を受けて、概ね良好な運営がされていると、評価委員で判断致します。
- ・ただ、1点気になるのは、入学が良好であるが、国家試験の合格率が全国平均を下回り、下位に低迷していることは誠に遺憾であります。さらに、今回の内部評価では、国家試験合格率の低迷に対して、原因の分析と対策が十分なされていないように見受けられます。国家試験の合格率は専門学校を運営して行くうえで極めて重要なことです。十分な対策をお願いします。
- ・学生募集については、情報開示を頻繁にし、優秀な学生が集まるよう努力しいほしい。
- ・自己評価報告を拝見して、評価方法で小数点が入っていない4段階評価をお願いします。評価の基準については、もう少し分かりやすく評価基準を明確化して頂ければと思います。
- ・今回のスコアを拝見して、前年度より評価が悪いにもかかわらず、その理由や根拠が明確化されておらず、また、次年度に向けての改善点や対策が不明瞭なので、もう少し具体的に評価して欲しい。
- ・内部評価の全体を通して、PDCAが明確になっていない。Plan→Do→Check→Actionに基づいた評価を提案します。

以上の総評が神田委員長からあり、今後とも、学校発展の為に努力して頂きいたとの話があった。

委員長は、他に質疑の有無を諮ったが特になく、本日の学校関係者評価委員会を終了した旨を述べ午後4時40分に閉会した。

以上

本議事録記載事項について、正確であることを証するため委員長及び議事録署名人各署名押印する。

令和2年6月13日

委員長 氏名

議事録署名人 氏名

議事録署名人 氏名

以上